

水害に備えて訓練を実施



5月31日、市消防団（今井昭彦団長、全14分団）の団員が、台風などによる水害の防止や被害軽減のための技術の取得・向上を目指し、市役所西側催事広場で水防訓練を実施しました。

海外での活躍を期待

青年海外協力隊として派遣される、本市出身の板垣香織さん（栄養士・派遣先ブラジルⅡ写真右）と本間緑さん（言語聴覚士・同Ⅱ写真左）が、6月16日に内野市長を表敬訪問。派遣先での、資格を生かした活動の抱負などを語りました。



大きなジャガイモに大喜び

6月7日、柏ヶ谷の畑を会場に、親子連れなど約200人が、地域の農家と市が共催する「ふれあい農業」でジャガイモの掘り取りを体験。「大きいのが取れた」と、子どもたちも大喜びでした。



6月5日、海老名市そば商組合（市川雅史代表）が、組合加盟店の募金箱で集まった9万836円を「福祉事業に役立てて」と、市まごころ基金に寄付。内野市長に手渡しました。

そば商組合が まごころ基金に寄付



小学生が田植えを体験



中新田小学校の4・5年生187人が、6月12日、体験学習として、学校近くの田んぼで地元農家の方の指導を受けながら、稲の苗を植え付けました。

ポット苗で芝生の植え付け



市内公園の「芝生化」の一環として、6月14日、国分北一丁目自治会の約50人が参加し、国分尼寺公園竹の子広場で、ポット苗を使用したティフトン芝の植え付けを行いました。

編集後記

サマースクールの活動の一つに、地域団体等による体験学習があります。手品や環境教室など、普段なかなか体験できない

内容が盛りだくさん。多くの人と触れ合いながら、貴重な時間を過ごせるサマースクールに、ぜひ参加しませんか。（か）